

地域づくり 推進計画

八王子市
みなみ野
中学校区
エリア

資料2
地域づくり推進計画(案)【修正版】



令和5年(2023年)12月
みなみ野中学校区地域づくり推進会議

推進会議への 思い

この計画に掲載されている「推進会議への思い」と題した写真は、この計画の作成に関わったメンバーが、自らの思いをA3画用紙に自由に表現し、それを撮影したものです。

それぞれの方の掲載箇所は、計画本編の記事や内容とは関係ありません。



目次

1	推進計画とは	P 2
2	推進会議とは	P 3
3	みなみ野ってこんなところ	P 5
4	推進計画ができるまで	P 6
5	地域の魅力	P 7
6	地域の課題	P 8
7	将来ビジョン	P 9
8	アクションプラン	P10
9	地域づくり活動の進め方	P11



地域づくり 推進計画 とは？

この計画は、八王子市が実施している「地域づくり推進事業」の一環で、地域にお住まいの方々を中心に集まり議論・検討してきた内容を記したものです。

作成に当たっては、地域の魅力や課題を洗い出し、将来のみなみ野中学校区エリアがどうあるべきか、その姿を検討・共有しながら、取り組むプロジェクトやその方法を議論してきました。

また、地域全体の住民等を対象としたアンケートやワークショップを実施して意見を聴取する等、地域の多くの方々のご意見や想いを踏まえてまとめています。

計画づくりの目的 = 地域づくりの推進

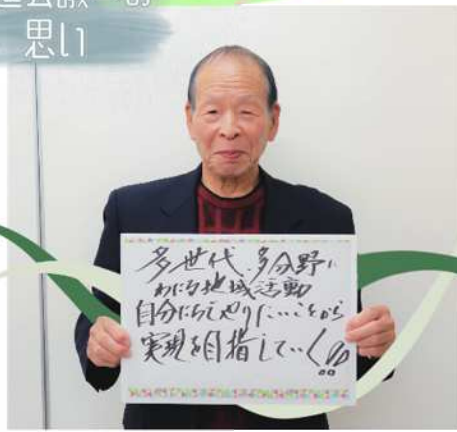
八王子市では、令和5年（2023年）3月に基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」を策定しました。この計画では、人口減少をはじめ社会的に大きな転換点となる2040年を展望し、そこで予測される社会環境の変化に対応するための基本的な施策展開等を記載しています。

推進会議への
思い

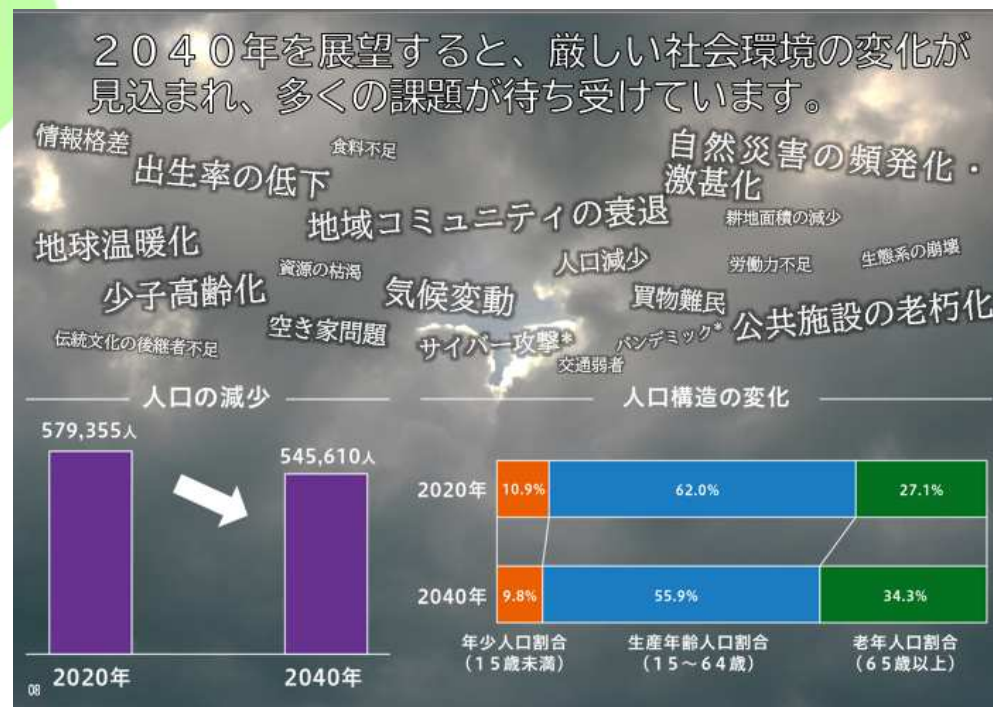


推進会議メンバー 橋山 晃子さん

推進会議への
思い



推進会議メンバー 大山 力男さん



「八王子未来デザイン2040」より抜粋

この計画は「みなみ野中学校区地域づくり推進会議」が作りました！

地域づくり 推進会議 とは？

2

2040年に予測される社会環境の変化に対応していくため、地域づくり推進計画の作成に当たっては、地域と行政が課題を共有し、計画の策定に取り組みました。

今回の策定に当たっては、「八王子未来デザイン2040」に変革のキーワードとして掲げる「カーボンニュートラル」「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」に加え、地域と連携して取り組んでいきたい「地域防災」「公共施設マネジメント」の視点を踏まえて検討を行いました。

地域のさまざまな主体をつなぐ プラットフォーム

地域づくり推進会議は、地域の魅力や課題を把握し、その向上や解決に向けて、地域の多様な活動団体や住民同士、地域と行政が協働するための会議体として八王子市が設置しています。みなみ野中学校区では令和3年(2021年)12月に設置され、2か月に1回程度集まり、地域情報を共有、意見交換するほか、地域内や行政との連携に向けてこの計画を作成。今後計画に基づいた取組を進めていきます。

参加者

(五十音順)

荒井 嘉夫	みなみ野小中学校 学校運営協議会 会長
遠藤 由実子	みんなの居場所づくり隊 縁・楽・結 代表
大倉 弘美	青少年対策みなみ野地区委員会 会計
大福 族生	八王子市共生社会推進会議 理事長
大淵 くみ子	みなみ野小学校地区放課後子ども教室 会長
大山 力男	由井西部地域住民協議会 理事
小井戸 浩子	みんなの居場所づくり隊 縁・楽・結
川崎 ミチ子	みなみ野健康推進の会 代表
斉藤 慶子	地域住民
佐藤 志穂	地域住民
塩沢 恵	地域住民
田谷 好子	みなみ野中学校保護者
恒川 信一	NPO法人難病ネットワーク 理事長
恒川 礼子	NPO法人筋無力症患者会 理事長
糠信 富雄	由井地区町会自治会連合会 副会長
野牧 宏治	フューチャーセンター虹の会 代表
橋山 晃子	第16地区 民生委員・児童委員
平野 吉三	八王子国際協会 元理事

一人ひとりが未来のことを考え、みんなで行動を起こすことで、心の豊かさを感じられる明るい未来をつくることができます。

ウェルビーイング*

都市の
進化・発展

サステナビリティ*

地域共生

脱炭素

スマートシティ*

自然との共生

「八王子未来デザイン2040」より抜粋



野牧 宏治さん

普段のお仕事や地域で関わっている活動をご紹介いただけますか

ICT企業に勤めて40年目になります。これまで、拠点となる工場の建設計画に長く携わってきました。専門は、環境配慮型の工場をつくるための設計要件の定義や、地域住民との合意形成、そして行政手続きです。地域の議員や町会長などの対話を通じて合意形成や、行政への許可手続きをクリアする工程は、地域社会で合意形成を図るプロセスを学ぶ貴重な経験になりました。

そうした経験を買われ30代のときに町会長となり、3年間務めました。年間90日以上が地方出張という多忙な年代でしたが、若くして地域デビューできたのはよかったです。

大淵 くみ子さん

普段、地域で関わっている活動をご紹介いただけますか

放課後に、子どもたちが校庭や教室を利用して安全に安心して過らせるよう見守りを行う、放課後子ども教室「みなみな広場」の運営に携わっています。そのつながりで、学校運営について先生や保護者、地域の方で集まって話し合う学校運営協議会にも参加しています。

放課後子ども教室に関わったのは、子どもが小学生のときにママ友から活動の話聞き、お手伝いをする形で関わり始めたのがきっかけです。元々、特に「子ども好き」ということではなかったのですが、活動の中で子どもたちと一緒に遊ぶことがすごく楽しくて、約9年間運営に携わっています。

大淵さんは、どのような思いで推進会議に参加されていますか

推進会議は、将来のことも踏まえて地域のことを話し合う場として設置されているので、本来は未来を担う子ども達にも参加してもらうことが必要だと思っています。ただ、毎回子ども

現在は、「フューチャーセンター虹の会」という市民活動団体の代表を務めており、学校教育政策の検討や行政への提言を行っています。

野牧さんは、どのような思いで推進会議に参加されていますか

町会長の役目を終えてから、「八王子ビジョン2022」の素案作りを行う市民会議に参加しました。そのとき、まちづくりの場面で市民の目線が役立つと体感しました。それ以来、八王子のまちづくりに市民の立場から関わり続けたいという思いが強くなりました。

そうした思いから、「中学校区別ワークショップ」に参加し、その後も推進会議に参加しています。

推進会議に参加して良かったことは、どんなことですか

地域づくり推進会議のメンバーの方々に、出会えたことです。初めての会う方も半数くらいいらして、つながりが広がりました。

その中には、みなみ野小中学校で息子の同級生だった子のお父さんがいたので、飲みに行つて地域を話題で盛り上がりました。息子たちの卒業なまちにしていきたいです。

推進会議に参加して良かったことは、どんなことですか

推進会議には、普段なかなかお話しする機会のない、様々な年代、活動をしている方が参加しています。これまで地域にこんなたくさん活動があることを知らなかったのも、色々な活動を知り、人につながる場になったのは良かったと感じています。

推進会議を通じてやってみたいことは、どんなことですか

以前、地元企業の協賛し、学校の先生や子どもたちが出し物をするなど、地域の様々な人が関わって開催していたみなみ野フェスタというイベントがありました。場所も駅前だったので、たくさんの方が立ち寄っていて、すごく盛り上がりつつあったんです。地域に楽しいことがあると、

から17年のときを経て親同士がつながるのも、地域ならではのことで、推進会議を通じてやってみたいことは、どんなことですか。

この推進会議が、地域と行政の接点になれたらいいと考えています。たとえば、行政が新たな施策を展開していくときに、地域ごとに異なるニーズにフィットするように施策を運用していきたい場面もあると思います。そういった場面で、地域づくり推進会議がヒアリングの相手となり、地域のセンサーのような役割を担えたら、より一層地域の実情にあう施策が実施されると思うんです。

イベントなど楽しいことをやりつつ、一方で行政とも対話ができる環境をつくっていききたいです。

推進計画に基づいて活動をしていくにあたり、所感を教えてください

それぞれの人が合った距離感で関わることが出来る、柔軟なコミュニケーション活動の場になればと考えています。密接に関わりたい人も、気が向いたときだけ顔を出したい人も包容できるような、ゆるやかな雰囲気での活動にしていきたいです。

住んでいる人はもちろん、外から来た人も「ここに住みたい」と思ってもらえると思います。気軽に立ち寄りやすく、参加した人に「楽しい」と感じてもらえるイベントを作っていききたいです。

推進計画に基づいて活動をしていくにあたり、所感を教えてください

メンバーが固定化してしまつと、活動が閉鎖的になってしまうので、興味のある人にもっとずつ関わってもらえるようになるのが良いですね。多くの人が関わることで、活動も広がると思うので、色々な方の意見を聞きながら進めていききたいです。



推進会議への思い

みなみ野ってこんなところ

みなみ野中学校区の詳しい状況は「地域カルテ」に整理しております。

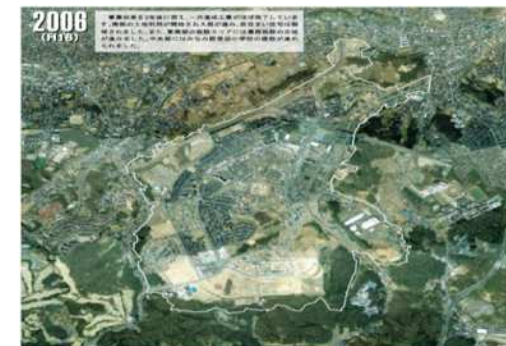


地域カルテはこちら

主に「みなみ野中学校区地域づくり推進会議」の対象エリアである みなみ野中学校区 についてご紹介しています。

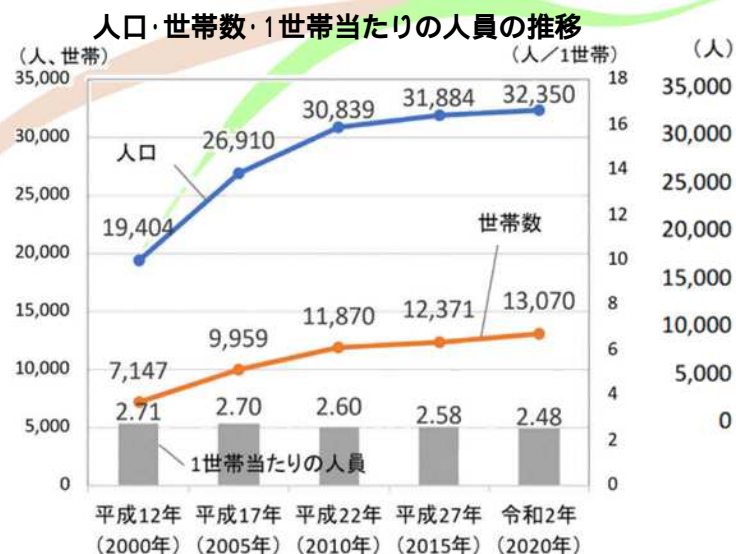
みなみ野中学校のエリアは、主に独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）による南八王子土地利用区画整理事業により、昭和63年（1988年）から整備がはじまった「みなみ野シティ」の一部です。みなみ野シティは、高度な都市性と里山を基調としたリゾート性をともに享受できるまちづくりをコンセプトとし、人々が趣味や地域に根差した交流を自由に行うことができること、また「環境共生都市」をテーマにまちづくりが進められました。

平成9年（1997年）に、まちびらき記念式典が開催されました。JR横浜線八王子みなみ野駅前は商業施設が立地し、周辺には戸建住宅を中心にゆとりある良好な住環境が形成されています。また教育施設等の公共施設や企業の研究施設等が立地しています。



「八王子みなみ野シティ まちづくりのあゆみ」（独立行政法人都市再生機構 作成）より抜粋

みなみ野中学校エリアの人口・世帯数は、まちびらきが行われた平成9年（1997年）以降、平成22年（2010年）まで増加し、令和2年（2020年）現在、微増傾向にあります。また、年齢構成としては、近年、年少人口は減少傾向、生産年齢は横ばい、老年人口は増加傾向にあります。



国勢調査結果をもとに作成

年齢3区分別人口



国勢調査結果をもとに作成



アンケートは令和3年度(2021年度)第3回、インタビューは令和4年度(2022年度)第4回の推進会議資料として公開しています。

アンケートとインタビューはこちら

推進計画 ができるまで

4

推進計画を作るに当たっては、推進会議の中の議論だけでなく、以下のような取組を通じて地域の皆さんの声も集めて作成しました。

アンケートを実施

地域の皆さんのご意見を、地域情報をまとめた「地域カルテ」や推進計画の内容に反映するため、令和3年度(2021年度)にアンケートを実施しました。

小中学校、インターネットだけでなく、推進会議メンバーにより計1,700枚配布を行い、359件回答がありました。

「子育てしやすいまち」インタビュー

みなみ野中学校区には、たくさんの子育て世帯の方が住んでいます。「子育てしやすいまち」を目指し、令和4年度(2022年度)地域子ども家庭支援センターみなみ野で乳幼児の保護者に推進会議メンバーがインタビューを実施しました。

「困っていること」「子育てしやすいまちのアイデア」などについて聞き取りをし、推進計画に反映したい内容をまとめました。



「地域ワークショップ」で意見交換

令和5年度(2023年度)には、推進計画の「中間とりまとめ」をした内容について、地域の皆さんから意見を伺う「地域ワークショップ」を開催しました。

高校生や大学生を含む、19名の方にご参加いただき、推進計画の中心となる「みなみ野の魅力と課題」「将来ビジョン」「アクションプラン」について、ご意見を伺いました。ワークショップ当日の司会やファシリテーションなどは、推進会議メンバーが担いました。



推進会議メンバー 田谷 好子さん

地域の魅力

魅力 ~ステキなところ、好きなところ~

整った都市基盤

災害リスクが比較的低い地域

戸建て住宅を中心とした良好な住環境

安心感のある広い歩道

商業施設、教育施設等の公共施設が立地し、利便性が高い

電車で都心や横浜へ行きやすい



田植え体験 (みなみ野自然塾)



整備された道路

都市基盤

ここでは「南八王子土地区画整理事業」等により高質に整備された宅地やよう壁、法面、道路、水道、電気、都市ガス、公園、学校など、みなみ野中学校区のまちの様々な施設やライフラインを指しています。

地域のコミュニティ活動

学校と住民とのつながりが強い

地域づくりの芽になるような様々な活動がある

参加しやすい町会がある

みどりが豊富なまち

“五山五丘三溪一流”構想の豊かな公園緑地

身近な自然、里山環境、兵衛川の桜並木、四季の花の彩



栃谷戸公園

推進会議への
思い



推進会議メンバー 佐藤 志穂さん

推進会議への
思い



推進会議メンバー 荒井 嘉夫さん

地域の課題

課題 ～足りないところ、越えたいハードル～

コミュニティの醸成

町会加入率の減少など、地域コミュニティの希薄化が危惧されることから、参加しやすい町会の取組を広げていくことや活動団体同士の連携も必要
家と駅や職場、商業施設を往復する生活で地域との関わりがあまりない人が多い
坂道が多く、高齢者が外出しづらい
災害時など、地域の情報共有、助け合いのために普段からのつながりづくりが必要
子どもも高齢者も誰もが自分に合った距離感でつながれる機会や場、仕組が必要



JR八王子みなみ野駅前の商業施設

豊富な魅力を活用していく

みなみ野の豊かな自然環境、公共施設や商業施設、大学・企業立地など、豊富な魅力を活かしていき

まちづくりを引き継ぐ担い手の不足

転入者は一定数いるが、地域で育った若者が転出してしまいう
これまで活発に行われてきた地域活動の担い手を若者にバトンタッチしていかないと続かない
大学、地元企業の立地があるものの地域とのつながりが希薄

推進会議への
思い



推進会議メンバー 大福 族生さん

推進会議への
思い



推進会議メンバー 糠信 富雄さん

集まり、つながり、風の生まれるまち ～人、自然を豊かに愉しむ 八王子みなみ野～

<込めた思い>

みどり豊かな住環境 を活かして
活動を進めていく。

蓄積された知識や経験 をもとに
さらに活動を進める ことで
地域の魅力が高まり、
様々な人が集い、
つながりが増える。

世代を超えて活動に関わってもらうことで
次の世代に受け継いでいく。

“まち”や“人”の好循環 により、
風が生まれつづける。

推進会議への
思い



推進会議メンバー 平野 吉三さん

推進会議への
思い



推進会議メンバー 塩沢 恵さん

推進会議への
思い



推進会議メンバー 野牧 宏治さん

アクションプラン

将来ビジョンの実現に向けて、地域で取り組み、実現したいことを「アクションプラン」として整理しました。ここでは、その方向性を紹介します。

みんなが集える場をつくる

- ・誰でも安心して、気軽に集える居場所づくりに取り組みます。
- ・地域の居場所を発掘し、共有し合いながら、ふれあい、子育て、健康づくり、習いごとなど、多彩な居場所をつくり出します。

みんなが楽しくつながる機会をつくる

- ・誰もが楽しめ、仲良しになれる機会づくりに取り組みます。
- ・豊かな地域資源を活かして取り組むことで、みなみ野を知ってもらえる機会をつくり出します。

地域の魅力を広く発信・共有する

- ・みんなの集いの場、つながる機会づくりを通じ、地域の魅力を広く発信・共有していきます。
- ・「口コミ」の力を活かせる、情報発信に取り組みます。
- ・アピール力の強いプロジェクトにチャレンジします。

若者の力で、次代につなぐ

- ・積極的に、子どもや大学生などの若者に参加してもらえ、まちづくりに取り組みます。
- ・若者の参加を通じて、地域の魅力、活動を次の世代につなぐ人が育つ、好循環まちづくりを目指します。

推進会議への
思い



推進会議メンバー 大倉 弘美さん

アクションプランの進め方

上記の4つの方向性を共有し、スモールスタートを意識して、できるところから取り組んでいきます。

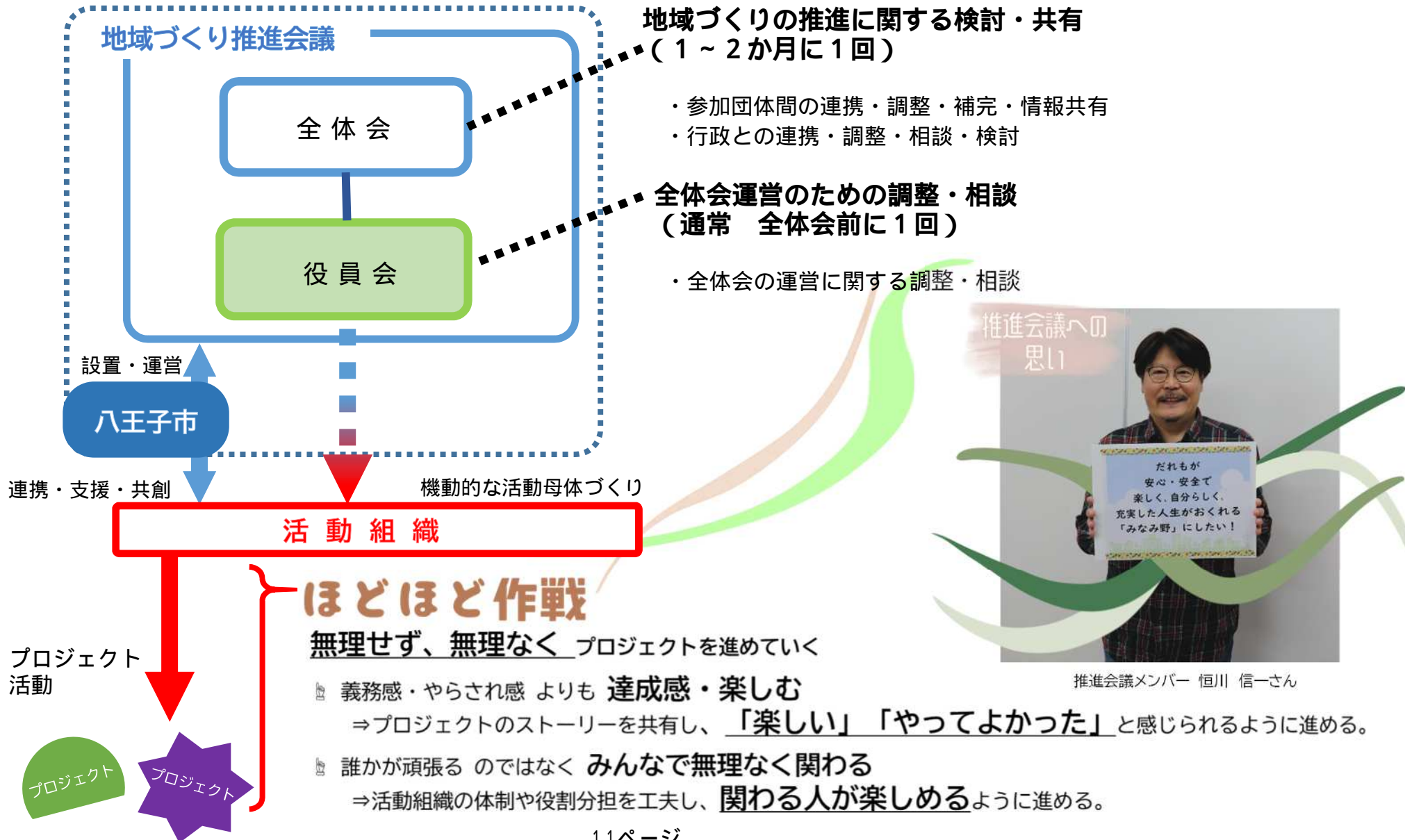
いま、取り組んでいる活動を共有・紹介する「プロジェクトPRシート」をインターネットでご覧いただけます。

プロジェクトPRシートはこちら



地域づくり 活動の進め方

推進会議と活動組織



地域づくり 推進計画

八王子市
みなみ野
中学校区
エリア

本冊子に掲載した写真

表紙 みなみ野の丘公園からの眺望
P1(目次) フレスポみなみ野と片柳学園第2学生会館
裏表紙 みなみ野大橋

令和5年(2023年)12月

編 著 みなみ野中学校区地域づくり推進会議 参加者
 八王子市 総合経営部 経営計画課 地域づくり担当

発 行 八王子市

所在地 〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24-1

電 話 042-620-7307 F A X 042-627-5939

地域づくり 推進計画

八王子市
みなみ野
中学校区
エリア

